

# トトと透が出会い、友情を育んだ 伊勢志摩の美しい風景の中へ。



## 1 菅崎半島と鯨崎

33年前にガメラとギャオスが戦った半島。地元エキストラ200人のパニックシーンは大迫力!この半島へは車で行くこともでき、ここからの太平洋の眺めは圧巻。



### CHECK!

女性の願いを叶えてくれる「相違(あひさつ)の石神さん」  
女性の願いを一度は叶えてくれると言われる「石神さん」。ご利益にあやかるうと、たくさんの女性が訪れます。麻衣が持っていた緑色真珠のお守りも、この神社がルーツかも知れません。



## 2 神島 カルスト地形

ガメラの卵を発見するシーン  
ガメラの自爆によりできた小島で発見された卵は、実はガメラだった!石灰岩が風化してできた独特のロケーションは、ガメラの卵の発見場所にぴったりだったとか。



### CHECK!

伊勢志摩スローフード①【タコ飯】  
神島のロケ弁は名物「タコ飯」。スタッフにも大好評だったタコ飯は、伊勢志摩ならではの味。



## 6 大王のまちなみ1

透たちの住む町  
今作品のメイン舞台となった、透たちの住む港町。ノスタルジックな雰囲気が抜群の絶景。複雑な海岸線や起伏に富んだ立体的なまちなみをバックに、透とトトのさまざまなドラマが生まれました。



### CHECK!

伊勢志摩スローフード②【てこね寿司】  
志摩風のロケ弁として好評だったのがてこね寿司。漁師さんが、船の上でカツオの切り身とご飯を手でこねて作ったことから、この名前がついたと言われています。てこね寿司以外にも、劇中に登場する網いっぴいの干物など、魚介類の豊富さでは全国一。



## 3 近鉄・しましんめい駅

透たちも近鉄で名古屋へ向かいました。

## 4 志摩マリランド

もう一つの「小さな勇者たち」



### CHECK!

トトに会いに行こう!  
劇化した「トト」の成長が描かれている伊勢志摩編。実は、そのトトのモデルになった実在のケヅメリクガメ君が大活躍!そのケヅメリクガメ君たちは、現在「志摩マリランド」で飼育されていますので、ぜひその勇姿を見てください。

TEL.0599-43-1225  
http://www.isesima.com/M-rand.htm

## 5 志摩パールブリッジ

ガメラVSジューダスの第1次決戦のシーン

全長5メートルのガメラ出現。ヘリによる空撮も加えたスペクタクルとなった雄大な構図です。開通前に特別に使用させてもらったこの橋は、まさにガメラが渡り初め。リアス式海岸と真珠筏が見事な人気ビューポイントです。

©2006「小さな勇者たち〜ガメラ〜」制作委員会

### CHECK!

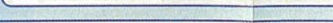
緋色真珠は伊勢志摩特産!  
33年前、ガメラとギャオスの闘いの後にたくさん採れたとされる、赤く輝く緋色真珠。伊勢志摩は、世界の真珠王「御木本幸吉」が初めて真珠養殖に成功した地域で、まさしく真珠王国!



## 8 米子浜

透・イシマル・カツヤが遊ぶ砂浜。大きくなったトトと透が岩の上で話すシーン

通称「ボンボラ」と言われる大きな穴が特徴的な米子浜。ここでは、遊歩道も整備されており、浜へ出たときのロケーションが圧巻です。



## 7 大王のまちなみ2

あいざわ食堂と西尾真珠店  
透の養家「あいざわ食堂」と、麻衣の養家「西尾真珠店」が立ち並ぶメインストリート。「あいざわ食堂」は実際の蒲鉾屋さん。「西尾真珠店」は実際の真珠屋さんをお借りしたものです。



### CHECK!

伊勢志摩スローフード③【伊勢うどんとサメのタレ】  
あいざわ食堂の人気メニュー「伊勢うどん」は、江戸時代から食べられている伊勢志摩ならではのグルメ!「サメのタレ」は、神様の食卓とされている食材で、この地方でしか食べることのできない珍味!



### CHECK!

ガメラの手は美味!?

この地方では、「カメノテ」と呼ばれる、文字通り「亀の手」にそっくりな磯物があります。酒の肴にピッタリで、「ガメラの手」を食べられる町としても大ヒット間違いなし!



## 9 船頭の祠

ガメラについて語る透と麻衣

ガメラについて語る透と麻衣のやりとりなどのシーンが撮影された小さな祠。大王は、昭和の時代から多くの映画が撮影されていますが、この祠で撮影をしたりここをお参りしたりすると、その映画は大ヒットするというジンクスがあるとか。

### CHECK!

絵描きさんに愛される場所  
大王は「絵」になる風景が多く、たくさん絵描きさん達が訪れることから、「絵かきの祠」としても有名です。ここ「船頭の祠」からの風景も良く、絵の題材としても選ばれています。



©2006「小さな勇者たち〜ガメラ〜」制作委員会



©2006「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

ガメラは少年のために。  
少年はガメラのために。



## INTRODUCTION

### 王道の感動ファンタジー。

1965年「大怪獣ガメラ」で、スクリーンに初登場したガメラ。毎年新作が公開され、怪獣ブームの一翼を担い、日本を代表するキャラクターとなった。一旦休止の後、1995年「ガメラ大怪獣空中決戦」でスクリーンに復活。本格感溢れる高い完成度で観客を魅了し、3連作が公開された。そして2006年。異生物との出会いと心の交流を描く、王道ファンタジーとなって、ガメラはスクリーンに帰ってくる!!親子の絆、大切なものを守る勇気、今この時代だからこそ大事にしたいものがここにある。

### 舞台は伊勢志摩、そして名古屋へ。

物語の前半は、三重県志摩市の大王町が舞台。美しい海辺のすぐ近くまで山が近づき、立体的な画面構成ができるために選ばれた。物語の後半は名古屋を舞台に移し、大都市での巨大な生物同士の戦いが描かれる。名古屋がクライマックスの舞台に選ばれるのは、シリーズ史上初となる。



## STORY

美しい海辺が広がる伊勢志摩地方。交通事故で母親を亡くした相沢透(富岡涼)は、浜辺で赤い石に乗った不思議な卵を見つける。手に取った瞬間、ひびが入り、中から亀のような生物が誕生した。透はその生物をトと名付け、父親の孝介(津田寛治)に内緒で飼うことにする。が、空中を飛びまわり、驚くべき勢いで成長するト。明らかに通常の生物ではない。透の家の隣の真珠店の娘・西尾麻衣(夏帆)はトの存在を知り、33年前に現れたガメラではないかと心配する。その麻衣は疾病の手術のため名古屋の大病院へ行くことになる。透は麻衣に、お守りとして赤い石を手渡す。あのトの卵が乗っていた石を…。

その頃、伊勢湾に巨大生物ジーダスが登場。その巨大なジーダスに懸命にトが挑むが、力つきて政府に捕獲されてしまう。そしてその夜、透に麻衣の両親から、麻衣の手術の成功を知らせる電話が入る。麻衣は「トに石を返したい」と言ったという。名古屋へ向かう透、その名古屋にジーダスが上陸。透は走り続ける。トに石を渡すために…。

富岡涼 夏帆 津田寛治

寺島進 奥貫薫 石川真吾 石丸謙二郎 田口モロロ

監督:田崎竜太 脚本:龍居由佳里 特撮演出:金子 功

主題歌:mink

製作:「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

製作プロダクション:角川ヘラルド映画 配給:松竹

©2006「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

2006年4月29日(土)全国ロードショー

www.gamera.jp

# ガメラと 伊勢志摩・名古屋を結ぶ 不思議な関係!?

## ヤマトタケルがたどっていた ガメラのロケ地!?

古事記や日本書紀などによると、日本武尊(やまとたけるのみこと)は、景行天皇の時、大和朝廷に敵対する東国の平定を命ぜられた。この東征にあたって、日本武尊はまず、伊勢神宮に詣で、天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)を授かると、尾張で宮簀媛命(みやずひめのみこと)と結婚の約束をした後、東国に向かったという。この東征の行程については諸説あるものの、最も東側では常陸まで行っていることになっている。

「小さき勇者たち〜ガメラ〜」の映画上の舞台はもちろん伊勢志摩と名古屋であるが、実は一部茨城県日立市でも撮影されているのである。つまり、ロケ地のポイントが日本武尊の東征ルートと不思議と重なるのである。

ちなみに、日本武尊が授かった天叢雲剣は、敵に野火攻めにあったときに草を薙ぎ払って難を逃れたことから草薙剣(くさなぎのつるぎ)と称されるようになり、三種の神器の一つとして熱田神宮のご神体ともなっている。また、日本武尊は伊吹山の神にたたられて伊勢の能褒野(のぼの)で亡くなったと言われるが、これは現在の亀山市のことである。さらに、ヤマトタケルというのはもともと「大和の国の勇者」という意味であるという偶然にまでつながると、あの赤い石は三種の神器の一つ、八尺瓊曲玉(やさかにのまがたま)にも結びつたくなってしまふ。



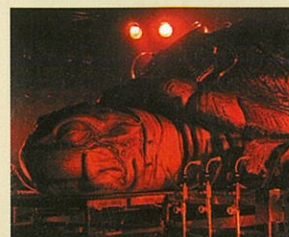
©2006「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

## 熱田神宮は亀の甲羅の上にある!?

熱田神宮は古来より「蓬莱島(ほうらいじま)」と呼ばれている。この蓬莱というのとはもともと中国の伝説で、東海の中にあって仙人が住み、不老不死の地とされる霊山であるという。その昔、名古屋の海岸線は現在よりもずっと北にあり、熱田の地が海に岬のように突き出て島のように見える姿から蓬莱山に擬せられたからとも言われている。

驚きなのは、蓬莱山はその伝承ではなんと巨大な亀の甲羅の上に立っていると言われていることである。それゆえ熱田界隈には「亀眼山」「亀腹山」「亀岳山」等々、その山号に「亀」のつく寺院が数多くある。

「小さき勇者たち〜ガメラ〜」の中で、捕獲されたガメラ(ト)が兩宮教授の研究施設に格納されているシーンがあるが、これは名古屋国際会議場のイベントホールで撮影されている。名古屋国際会議場は熱田神宮からほど近く、ヤマトタケルの墓だとの伝説もある白鳥古墳のすぐそばに位置する。ジーダスと戦うために急激な成長を見せたガメラの生命の源は、伊勢志摩で採れた緋色真珠から抽出したエネルギー成分だけでなく、目に見えない神秘的なパワーも関係していたのかもしれない。



©2006「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

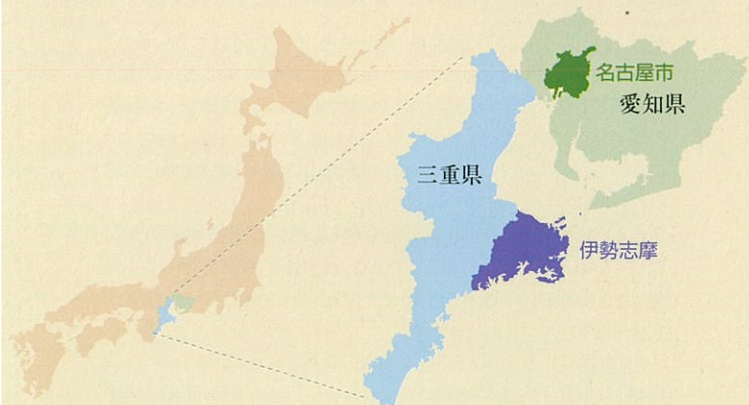


©2006「小さき勇者たち〜ガメラ〜」製作委員会

# 小さき勇者たち

GAMERA

# 伊勢志摩〜名古屋 ロケ地MAP



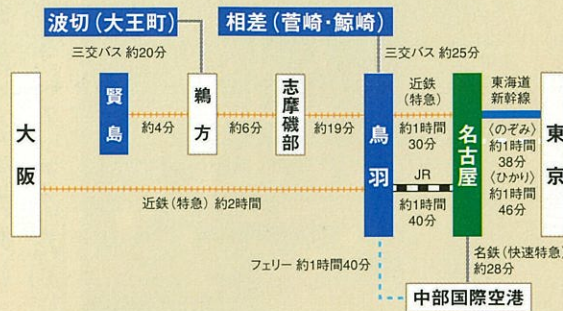
伊勢志摩



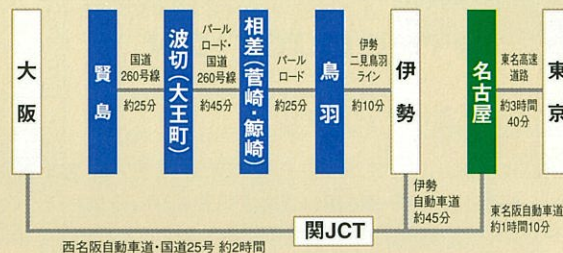
名古屋

ロケ地を見学される際はマナーを守りましょう。

【公共交通機関で】



【お車で】



## 伊勢志摩フィルムコミッション なごや・ロケーション・ナビとは...

伊勢志摩、名古屋を舞台とする映画・テレビドラマ・CM・スチールなど、様々なロケのサポートを行うため、ロケに関する地域の情報提供、調整等を行うワンストップサービス窓口です。

ロケを通じて、地域の発信や知名度の向上を目指すとともに、エキストラによる住民のみなさんの参画などによる、参加型まちおこし事業としての活動を展開しています。

映画「小さき勇者たち〜ガメラ〜」は、名古屋と伊勢志摩の両地域のサポート作品となっており、それぞれのみなさんの協力のもとできあがった記念すべき1本です。

伊勢志摩フィルムコミッション、なごや・ロケーション・ナビでは、これからもたくさんの方々に参加していただくため、エキストラやサポートスタッフを大募集中ですので、興味のある方は、下記ホームページからご登録ください。ぜひ、一緒に両地域を盛り上げていきましょう!!

発行



〒519-0696 三重県伊勢市二見町茶屋420-1伊勢市二見総合支所3F

(社)伊勢志摩観光コンベンション機構内

TEL:0596-44-0800 FAX:0596-42-2929

[www.iseshima-fc.jp](http://www.iseshima-fc.jp)

E-mail:i-s-conv@tcp-ip.or.jp



〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル5F

(財)名古屋観光コンベンションビューロー 内

TEL:052-202-1143 FAX:052-231-0922

[www.ncvb.or.jp/location/](http://www.ncvb.or.jp/location/)

E-mail:nagoyaln@ncvb.or.jp

### 志摩市

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098-9

TEL.0599-44-0005 FAX.0599-44-5252

[www.city.shima.mie.jp/](http://www.city.shima.mie.jp/)

E-mail:kankosenryaku@city.shima.lg.jp